

平成26年 県政10大ニュース

1 東九州自動車道の県内全線開通迫る

○いよいよ来春開通 東九州自動車道（豊前IC～宇佐IC間、佐伯IC～蒲江IC間）

2 広がるLCC就航

○ティーウェイ航空ソウル便、ジェットスター・ジャパン関西便の新規就航
○大分空港利用者が170万人を突破

3 地場中小企業の新たな挑戦

○地域牽引企業4社の取組開始
○食品産業の振興を目指す「食品オープンラボ」が開設
○九州初のものづくり人材育成拠点「ファブラボ大分」が開設

4 芸術文化を生かした「創造都市」の取組

○県立美術館OPAMの竣工と、竣工記念イベント「OPAM誕生祭」の成功
○国東半島芸術祭に6万人を超える来場者
○しいきアルゲリッチハウスの建設着工
○大分県が「創造都市ネットワーク日本」に加盟（6月）

5 高齢者を支える地域包括ケアシステム 大分県内全域に広まる

○全市町村で自立支援型のケアマネジメントを進めるための地域ケア会議を実施
○モデル3市では要支援からの改善者が増加（H23年度:7.5%、H24、25年度平均:13.6%）

6 「ごみゼロおおいた作戦」の新たな展開へ

○筑後川、大分川等のモデル河川で豊かな水環境の創出を目指した取組がスタート
○ごみゼロ海岸クリーンアップ作戦で広がる海岸清掃活動

7 大分県の魅力 全国規模で大注目

○DESTINATIONキャンペーン全国宣伝販売促進会議の開催（参加者約600人）
○NHK大河ドラマ軍師官兵衛で来県者大幅増加（中津城への来場者 対前年比 約4倍）
○MICE誘致の強化（べっぴんフィギュアエキシビション2014来場者約1万6千人等）
○「豊の国千年ロマン観光圏」が観光庁の新観光圏に認定
○「おんせん県おおいた」CMなど、全国都道府県魅力度ランキング2014で、大分県は大幅アップ

8 関西市場で好調な大分県の農産物

○京都青果への農産物出荷実績が、平成19年比約1.5倍、約17億円を達成
○大阪市で「オレイン和牛の饗宴2014」の開催

9 世界のトップ・日本のトップ 飛躍する大分の子どもたち

〈世界一〉

- 第1回インターナショナルロボット相撲トーナメント
大分工業高校：未来ロボット工学研究部優勝

〈日本一〉

- 第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会
[放送部門] 大分県高等学校文化連盟放送専門部 文部科学大臣賞（総合優勝）
[自然科学（化学）部門] 大分上野丘高校化学部 最優秀賞
[自然科学（生物）部門] 大分舞鶴高校科学部生物班 最優秀賞
- 第23回国際高校生選抜書展「書の甲子園」 中津北高校：団体の部優勝
- 第19回全日本高校・大学生書道展高等学校の部 大分高校：最優秀校
- 第65回児童自立支援施設全日本少年野球大会 二豊学園：優勝

〈九州〉

- 全国学力調査・体力調査ともに小学校が九州トップレベルを達成

10 災害に強い県土づくり

- 平成24年梅雨前線豪雨の災害復旧がほぼ完了（改良復旧除く）
- 「大分県国土強靱化地域計画」策定に着手
- 玉来ダム 工事用道路、転流トンネル工事に着手
- 土砂災害防止に向けた土砂災害警戒区域の指定も加速

【記憶に残る記録】

- 30年ぶりの雪害で農作物などに20億円を超える被害額
- 障がい雇用者数が過去最高を更新し、実雇用率が全国2位となる。
- 全国椎茸品評会で、大分県が16年連続、通算48回目の団体優勝
- 佐伯鶴城高等学校3年渡辺一平選手が第2回ユースオリンピック競技大会（南京）
男子200m平泳ぎ優勝
- 山形県を中心に開催された第9回若年者ものづくり競技大会のメカトロニクス職種で
鶴崎工業高等学校の生徒が優勝（厚生労働大臣賞受賞）したのをはじめ、出場11名
中7名が入賞